

事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	いなだに 伊那谷	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長野県	対象市町村	いいたし 飯田市ほか 27 市町村
事業実施期間	R5 年度～R9 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、長野県中南部の天竜川流域^{てんりゅうがわ}に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は 324 千 ha（森林率 81%）、対象民有林は 249 千 ha（森林全体の 77%）、うちカラマツを主体とする人工林は 129 千 ha（人工林率 52%）で、北部にカラマツ、中部にカラマツとアカマツ、南部にヒノキとカラマツが多く存在している。</p> <p>本地区の令和 3 年度末時点での林業就業者数は 482 人と横ばい傾向だが、近年やや増加傾向にあり、また、高性能林業機械の保有台数は 149 台と、平成 29 年度末時点から 63 台増加しており、県全体の保有台数の 32%を占めている。このように、本地区は、素材生産の生産性を向上させるため高性能林業機械の導入を進めてきた県内でも林業が盛んな地域である。</p> <p>しかしながら、本地区の林道、森林作業道等の林内路網延長は、令和 3 年度末時点で 5,035km、林内路網密度は 20.2m/ha と県平均の 21.7m/ha を下回っており、路網整備を進め、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの普及・定着を図っていく必要がある。</p> <p>また、本地区の素材生産量は、近年ほぼ横ばいで推移しているが、主伐材の割合が 19%と間伐材が主体となっており、県全体の主伐材の割合 43%と比較して非常に低い状況にある。一方、本地区の森林の齢級構成は 10 齢級以上の人工林が 8 割以上を占め、伐採適期を迎える高齢級の人工林が増加しており、今後、より生産性の高い主伐に取り組んでいくこととなる。このため、水源涵養機能^{かん}や土壌保全機能等といった森林の有する公益的機能を維持しつつ、森林資源を持続的に利用していくためには、適正な伐採と更新の確保及び森林の育成段階に応じた適切な保育、間伐等の施業の着実な実施が必要である。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、再造林や間伐等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,700ha</p> <p>人工造林、下刈、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：12,958m</p> <p>林道開設、改良</p> <p>総事業費：4,624,501 千円（税抜き 4,204,092 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=6.04</p> <p>（総便益（B）=31,051,399 千円、総費用（C）=5,140,561 千円）</p>

評価結果	<p>必要性：森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進を図るためには、間伐や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、高性能林業機械の導入及び路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

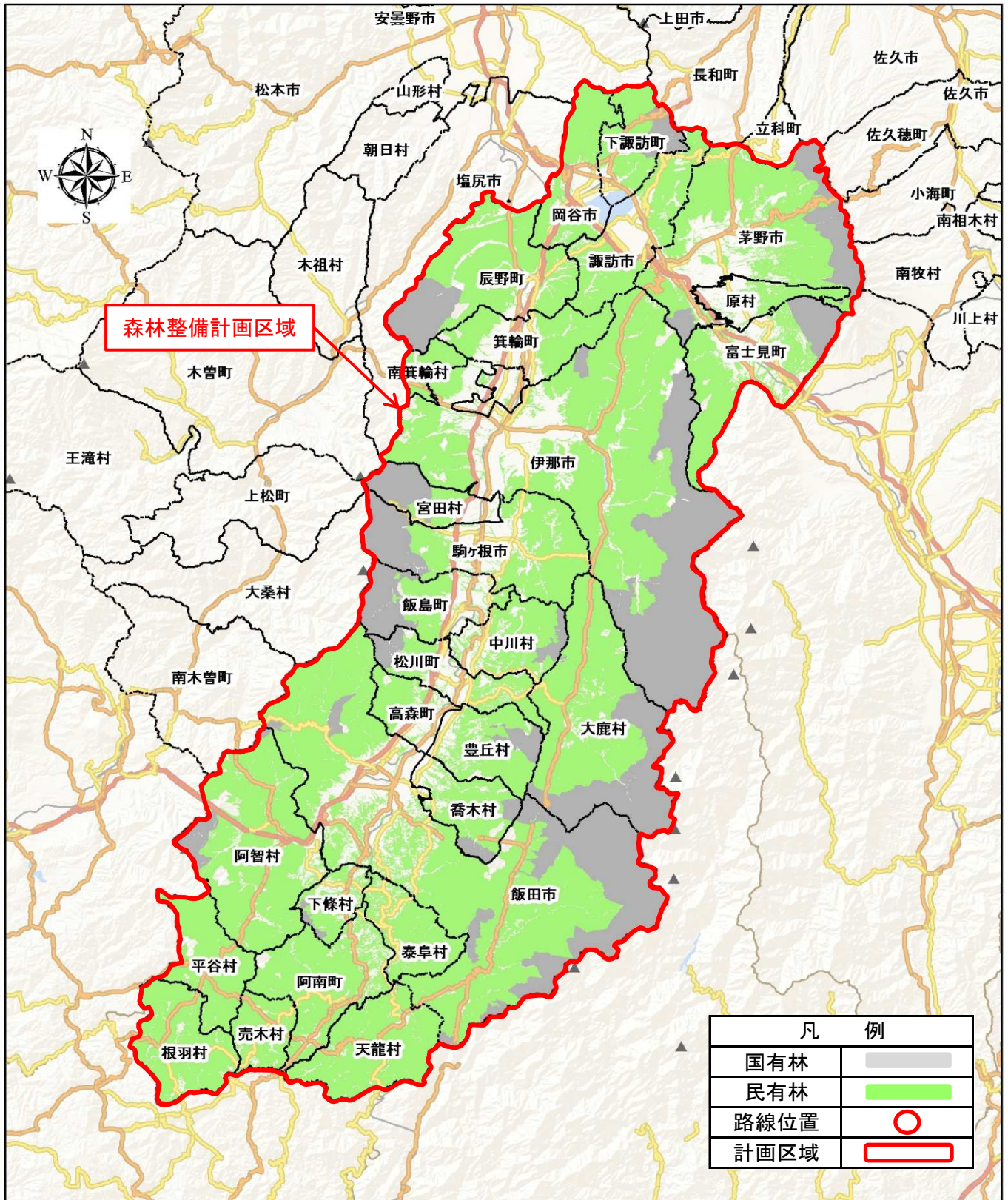
都道府県名：長野県

地域(地区)名：伊那谷^{いなだに}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,432,477	
	流域貯水便益	2,681,283	
	水質浄化便益	10,087,687	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,740,529	
環境保全便益	炭素固定便益	280,578	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	111,190	
	木材利用増進便益	84,902	
	木材生産確保・増進便益	2,666,365	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	14,872	
	森林管理等経費縮減便益	43,404	
	森林整備促進便益	832,581	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	2,370	
	ふれあい機会創出便益	820	
	副産物増大便益	480,933	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	969	
	災害復旧経費縮減便益	560,209	
維持管理費縮減便益		30,230	
総 便 益 (B)		31,051,399	
総 費 用 (C)		5,140,561	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,051,399}{5,140,561} = 6.04$		

森林環境保全整備事業 伊那谷流域（長野県）概要図



1:500,000

0 5 10 20 30 40 50 km